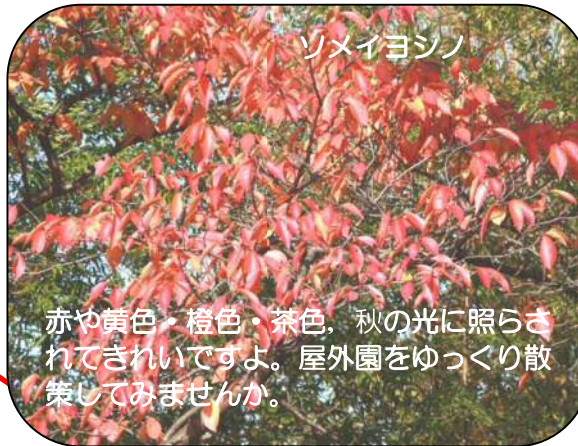


ホラッ 11月の
屋外園が呼んでいますよ！！
京都市青少年科学センター

木の葉が色づいてきました！



ソメイヨシノ
赤や黄色・橙色・茶色、秋の光に照らされてきれいですよ。屋外園をゆっくり散策してみませんか。

まだ味いています！

キョウチクトウ科 ホトトギス

(ユリ科)



紀伊半島南部の山地の崖に自生していますが、絶滅が危惧されています。優雅な花で昔から茶花として茶人に親しまれてきました。和歌山県すさみ町佐本は紀伊上臈ほととぎすの里として知られています。

センダン (センダン科)

黄色い実が枝一面につき落葉後も木に残る様子が数珠のようなので千珠(せんだま)の意で名づけられました。

カツラ (カツラ科)

溪流沿いなどによく生え、春の新緑、秋の黄葉ともに美しく、大木になります。葉はハート形。京都市の木です。

カリン (バラ科)

中国原産、黄色い果実には芳香があります。生食はできませんが、砂糖漬けや果実酒に使われます。



雨の日の後、松の木の下で、薄紫色で棒状のムラサキナギナタケやオウギタケ、アミタケが見られます

(写真は2017年11月)

ヨメナ (キク科)

ノコンギクと並んで人家のまわりで普通に見られる「野菊」の一種です。紫色の花がかわいいです。春の若い葉は摘み草にされます。

ツワブキ (キク科)

葉が厚く、山菜のフキの葉に似ているところからツワブキ(厚葉蕨)と名付けられました。食用や薬用に利用されます。

ムクロジ (ムクロジ科)

落葉高木。葉は黄葉します。果実は球形で中に黒い種子が1個あります。種子は羽根つきの球にします。果皮にはサポニンが含まれ石鹸の代用にしました。

コウテイダリア (キク科) 別名木立ダリア

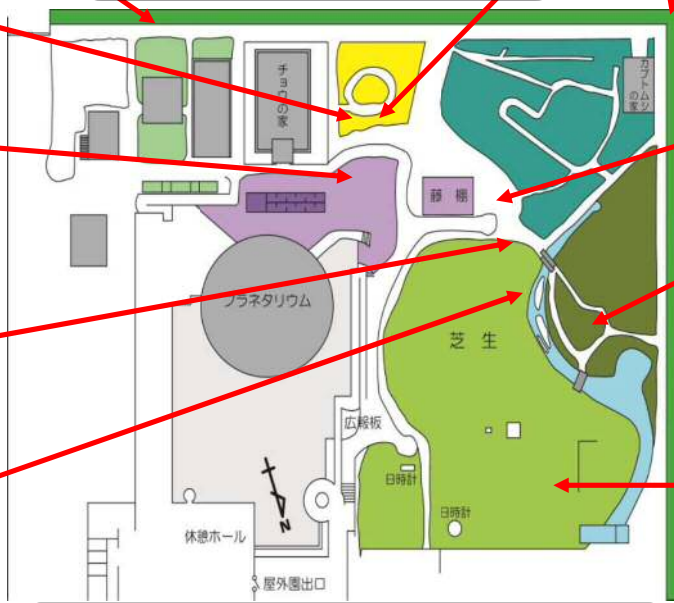
ピンク色の大輪の花を咲かせます。秋空にそびえ立つ姿は圧巻です。成長すると3~4mにもなりますが、今年は台風で倒れ2mほどです。

モミジバフウ (フウ科, 旧マンサク科)

街路樹、公園樹として用いられます。果実はリースの飾りに使います。屋外園の木は、前京都市青少年科学センター所長日高敏隆先生の記念樹です。

イヌタデ (タデ科)

ままごと遊びではアカマンマと呼ばれます。タデは辛味のあるヤナギタデを食用にしますが、それ以外のタデはイヌタデと言って軽蔑したそうです。



芝生広場 青空の下お弁当を広げてみませんか

エノコログサやチカラシバ・メヒシバなどイネ科の野草やセイタカアワダチソウ・イヌタデなどが見られます。バッタやコオロギ、カマキリの仲間もまだいますよ！さがしてみましよう！

11月

花だより

京都市青少年科学センター



ツウブキ



ホトトギス



キイジョウロウ
ホトトギス



セイタカアワダチソウ



コウテイダリア



ヨメナ



キバナコスモス



コウヤボウキ



イヌタデ

紅葉と木の実



カツラ



モミジハフウ



ナンキンハゼ



イチョウ



イロハカエデ



ナツツタ



ムクロジ



アキニレ



トウネズミモチ



センダン



ガリン

屋外園が
呼んでますよ!